

令和3年度学校評価について

令和3年度の教職員自己評価，児童アンケート，保護者アンケート及び学校評議員アンケートを実施しました。その結果を以下のとおり分析し，次年度への課題としました。

【教職員自己評価 達成率が高かった項目】

達成率 (昨年度)	No.	項目
100% (94%)	23	「不祥事根絶について」教育公務員としての使命と責任を自覚し，礼儀・品格・公平公正に努め，不祥事を起こさない決意をもっているか。
94% (86%)	15	「安心して活動できる清潔で安全な学校」をめざして，施設・設備の安全・美化・安全点検・整備に努めたか。
91% (90%)	11	「安心して活動できる清潔で安全な学校」をめざして，児童の目線にそった安全点検を実施し，常に安全管理意識をもって指導したか。
90% (90%)	19	「地域とともにある学校」をめざして，心身ともに健康で良識ある教師であったか。

【教職員自己評価 達成率が低かった項目】

達成率 (昨年度)	No.	項目
56% (53%)	17	「地域とともにある学校」をめざして，学校・学年・学級の教育方針・内容や児童の様子を知らせる広報活動の充実に努めたか。
56% (43%)	18	「地域とともにある学校」をめざして，積極的に情報を発信して，保護者・地域住民との連携を図ったか。
61% (61%)	27	「学習指導の充実にについて」少人数指導，習熟度別指導等，指導形態の多様化を図ったか。

【保護者アンケート 達成率が高かった項目】

達成率 (昨年度)	No.	項目
93% (95%)	17	お子さんは，友達を大切にしていますか。
91% (なし)	5	お子さんは，楽しく学校に行っていますか。
87% (86%)	23	お子さんは，健康や安全に気をつけていますか。

【保護者アンケート 達成率が低かった項目】

達成率 (昨年度)	No.	項目
22% (26%)	21	柏市と学校が共同で取り組んでいる「みんなの子育て広場」を知っていますか。
47% (46%)	24	他の保護者とコミュニケーションがとれていますか。
52% (47%)	11	お子さんは、読書をごんばっていますか。
59% (59%)	20	お子さんは、進んで運動をしていますか。

【児童アンケート 達成率が高かった項目】

達成率 (昨年度)	No.	項目
97% (97%)	11	学校などで、みんなで使うものを大切にしていますか。
97% (なし)	17	先生方は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。
96% (95%)	5	授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか。
96% (94%)	12	学校や住んでいる地域のきまりを守っていますか。
96% (93%)	16	健康や安全に気をつけて生活していますか。

【児童アンケート 達成率が低かった項目】

達成率 (昨年度)	No.	項目
77% (86%)	22	家族でおとなの考えを聞いたりあなたの意見を話したりすることがありますか。
83% (83%)	21	おうちの人に、学校であったことや友達のことなどをよく話していますか。
83% (85%)	13	進んで運動していますか。
84% (85%)	8	本を読むのが好きですか。

【学校教育目標の実現に向けて】

①「自ら学び高め合う子」の実現について

教職員自己評価では、「自ら学ぶ子」の育成が66%、「高め合う子」の育成が63%の達成率で、ともに昨年度より達成率が下がった。新型コロナウイルス感染予防の点から、今年度も学習活動が制限され、十分な指導ができなかったことに一因があると考えられる。また、この項目が他に比べて達成率が低いことから、「自ら学び高め合う子」の実現へ向けた取り組みが不十分であったと考えられる。このような状況の中でも、昨年度同様、児童アンケートでは、「授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか。」が96%、「宿題や家庭学習をすすんでしていますか。」が90%の達成率であり、児童は意欲的に学習に取り組んだことが伺える。保護者アンケートでは、「お子さんは、先生や友達の話をしっかり聞いていますか。」が78%、「お子さんは、家庭学習をがんばっていますか」が71%とやや低い達成率となっている。特に、読書については昨年度同様、児童が「本を読むのが好きですか。」に対して83%、保護者が「お子さんは、読書をがんばっていますか。」に対して52%と、どちらも他に比べて低い達成率であり、これについては今後指導を工夫していく必要がある。

児童アンケートの「やると決めたことに粘り強く取り組んでいますか。」が84%、「自分で目標を立てて、それを達成するためにがんばっていますか。」が86%、保護者アンケートの「お子さんは粘り強く活動していますか。」が66%、「お子さんは、自分で目標を立ててがんばっていますか。」が61%と、自分で目標を立てて取り組んだり、粘り強く取り組んだりすることに課題があることがわかった。この点についても、学校としての取り組みが必要である。

②「思いやりがあり協力する子」の実現について

教職員自己評価では、「思いやりがある子」の育成が78%、「協力する子」の育成が81%の達成率であった。児童アンケートの「まわりの人々にやさしくしていますか。」に対して96%、保護者アンケートの「お子さんは、友達を大切にしていますか。」に対して93%と、高い達成率であった。

③「健康で活動できる子」の実現について

教職員自己評価では、「健康な子」の育成81%、「活動をがんばる子」の育成78%の達成率であった。児童アンケートの「朝ご飯を食べてから学校に来ていますか。」は96%の達成率であり、健康な生活ができていることがわかる。運動については、児童アンケートの「進んで運動していますか。」の達成率が83%、保護者アンケートの「お子さんは、進んで運動していますか。」の達成率が59%と、児童・保護者ともに低い達成率であった。今年度も、コロナウイルス感染症予防や熱中症予防のため、運動が不足しがちな面があったことが要因であると考えられる。

④「あかるいあいさつが響く学校」の実現について

あいさつについては、教職員自己評価の「あかるいあいさつが響く、規律ある学級づくりにつとめたか。」に対して65%の達成率であった。保護者アンケートでも、「お子さんは元気にあいさつや返事をしていますか。」が71%と、決して高くない達成率であるにも関わらず、児童アンケートの「先生や友達、地域の人などに進んであいさつをしたり、返事をしたりして

いますか。」が92%と、比較的高い達成率であった。教職員や保護者と児童の意識にずれがあることを踏まえた取り組みが必要である。

教育相談に関しては、教職員自己評価の「教師・児童の人権感覚を高め、教育相談等を通して個のニーズに応じた支援をしたか。」の達成率は81%であった。児童アンケートの「先生方は困ったときに助けてくれたり、相談にのってくれたりしますか。」が95%、「先生方は、自分たちががんばったことを認めたり、ほめたりしてくれますか。」が91%、保護者アンケートの「学校は、子供の悩みや相談に親身に対応していると思いますか。」が76%、「学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいると思いますか。」が67%であった。コロナ渦においては、これまで以上に児童一人ひとりに応じた対応が求められている。

⑤「安心して活動できる清潔で安全な学校」の実現について

教職員自己評価では、「施設・設備の安全・美化・安全点検・整備に努めたか。」が94%、「児童の目線にそった安全点検を実施し、常に安全管理意識をもって指導したか。」が91%と達成率が高かった。しかし、「感染症対策を実施し、児童自ら実践できるように指導したか。」については、昨年度100%の達成率であったものが82%に下がった。新型コロナウイルス感染症への対応をしながらの教育活動は2年目になった。児童への指導を含めて、再度感染症対策に確実に取り組む必要がある。児童アンケートの「健康や安全に気をつけて生活していますか。」の96%の達成率、保護者アンケートの「学校は、子供の健康、安全に配慮していると思いますか。」の85%の達成率は、昨年度と同程度であった。

⑥「地域とともにある学校」の実現について

「家庭・保護者への要望について」は、教職員自己評価の「学校から保護者に対して家庭で取り組んでほしいことを検討し、継続的に要望したか。」が84%、「家庭学習・読書活動について、家庭の理解をうながし、具体的に要望したか。」が68%といずれも昨年度より達成率が上がった。昨年度は実施できなかった授業参観・懇談会を、今年度は回数に限られてはいたが実施できたことや、学年だよりなどで積極的に取り組んだ結果であったと考える。保護者アンケートでも、「学校は、教育方針や教育活動をわかりやすく伝えていると思いますか。」に対して80%と、昨年度より達成率が上がり、成果があったと考える。

一方、「地域とともにある学校」については、「学校・学年・学級の教育方針・内容や、児童の様子を知らせる広報活動の充実に努めたか。」、「積極的に情報を発信して、保護者・地域住民との連携を図ったか。」に対してともに56%と、昨年度より上がったものの、低い達成率であった。

次年度は、保護者に向けての情報発信を引き続き積極的に行いつつ、コロナ渦での地域への情報発信や連携についてもさらに工夫していく必要がある。

⑦その他

「不祥事根絶について」は、教職員自己評価の「教育公務員としての使命と責任を自覚し、礼儀・品格・公平公正に努め、不祥事を起こさない決意をもってしているか。」が100%の達成率であったことをはじめ、高い達成率であった。引き続き、意識を高くもって取り組むべき内容である。

家庭での様子として、児童アンケートの「おうちの人に、学校であったことや友達のことなどをよく話していますか。」が83%、「家族でおとなの考えを聞いたりあなたの意見を話したりすることがありますか。」が77%と低い達成率であった。保護者アンケートでも「家庭で、家庭教育の方針などについて話し合う機会がありますか。」が73%と達成率は高くない。家庭で学校のことなどを話す機会を持てるよう、学校としての働きかけを工夫していく。

アンケート項目の他に、校庭の水はけの悪さに関する要望があった。教育委員会とも連携しながら対応しているところではあるが、引き続き状況を見ながら対応していく。また、新たに導入されたタブレット端末に関する意見も多数あった。使い方のルールやマナーに関して児童への指導を継続して行いながら、学習での効果的な使い方をさらに研究していく必要がある。

【まとめ】

コロナ渦において、学習活動を工夫しながら実施してきたが、「自ら学ぶ子」や「高め合う子」の実現を十分に達成するためには、今年度、力を入れて取り組んで来たICTの活用などをさらに進めるなど改善が求められている。特に、読書活動や運動に対する取り組みが必要である。昨年度の課題であった保護者への情報発信という点は一定の成果があった。また、校内の安全対策については、昨年度に引き続き意識して取り組むことができた。

【次年度に向けての課題】

コロナ渦で学習活動が制限される中ではあるが、学習活動をさらに工夫し、学校教育目標を達成するための取り組みを進めていくことが大事である。感染症対策に関しては、児童への指導も含め、学校における感染症対策を確実に実施する必要がある。挨拶については、学校として取り組むべき課題である。また、今年度は保護者に向けての情報発信を積極的に行ってきたのでそれを継続し、合わせてコロナ渦における地域への情報発信や連携を工夫していくことが求められている。